

ひがしおうみ東西南北  
季節の話題をお知らせ!

今月のスマイルさん  
Everyone to be happy with a smile.



けいすけさん・ちがさん  
布引陸上競技場で  
お会いしました

東近江市総合防災訓練

能登川中学校で実施した市総合防災訓練では、見物に訪れた市民や訓練に参加した消防署などの関係機関から約1,400人が集まりました。

この訓練は、地震や集中豪雨などによる災害の発生を想定したもので、今年度は能登川地区で実施。避難所開設訓練や救助ヘリコプターによる救助訓練など、本番さながらの緊張感の中で行われました。



救助ヘリコプターによる救出救助訓練



消防団による火災防備訓練

もろうため、体験ブースを設置しました。消火器を使った初期消火体験をした長崎絃斗さん(小学5年生)は、「水が思ったより強く出てコントロールが難しかった。地震体験や救急体験もできると聞いて来たので楽しみです」と明るく答えてくれました。

近江商人のふるさと五個荘地区で、毎年恒例となっている「ぶらっと五個荘まちなみ」が開催されました。

イベントの目玉である近江商人時代絵巻行列には、午前と午後合わせて約150人が参加。江戸後期から大正時代の衣装に身を包み、まちなかを練り歩きました。また、近江商人屋敷や博物館などで、絵画や小幡人形などの作品が展示される「ぶらりまちかど美術館・博物館」も同時開催。当日は約8,000人が来場し、風情ある町並みを歩きながらアートに触れ、秋の一日を楽しみました。近



ステージイベントの出店もありません。

9/24 水曜どうでしょうキャラバン2023

江商人時代絵巻行列に参加した畑純花さん(神戸市)は、「カムカムエヴリバディの聖地で、このような華やかな衣装が着られてとても気分が上がりました。歴史を学び、体感することができて、本当に楽しいイベントでした」と満足そうな笑顔を見せてくれました。

日本全国から藩士が集う水曜どうでしょうキャラバン2023

北海道テレビの人気番組「水曜どうでしょう」のキャラバンが2年連続で総合運動公園布引多目的グラウンドにやってきました。約3,000人も水曜どうでしょうファン(藩士)が集まり、名物ディレクターとのトークを楽しみました。

また、オリジナル企画としてミズノ流ポケモン忍者学校も開校され、子どもたちがポケモンの人気キャラクター「ゲッコウガ」と一緒に体を動かしました。



レインボー大使とのトークイベント



快晴の中行われた近江商人時代絵巻行列

湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ  
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
2025

大会会期 2025年(令和7年)  
国スポ | 9月28日(日)~10月8日(水)  
障スポ | 10月25日(土)~10月27日(月)

大会マスコットキャラクター紹介  
大会マスコットキャラクターは、琵琶湖の固有種「ピワコオオナマス」をモチーフにしています。  
「キャッフィー」と「チャッフィー」の愛称を合わせると「キャッチ」になり、人の心をキャッチするという意味が込められているんだよ。

問わたSHIGA輝く国スポ・障スポ  
東近江市実行委員会  
(国スポ・障スポ推進課内)  
IP050-5801-5675 FAX0748-24-5571  
メール: kokusupo-syosupo@city.higashiomi.lg.jp

森と人をつなぐコラム  
森里川湖をめぐるストーリー

命の水の源、鈴鹿の森  
鈴鹿山脈に降る大量の雨や雪によって蓄えられた水は、一部は表流水として河川を流れ、一部は土壌に浸透し、長い年月をかけて愛知川を流れ、琵琶湖に注いでいます。

東近江市の東部は、鈴鹿の山から運ばれた土砂で構成される扇状地とよばれる堆積地が多く、堆積地の下層には四百万年〜五百万年前の層が広がり、地下を流れる伏流水が、所々で湧き出しています。

愛知川の水が一見枯れているように見えるのは、上流で地表水が地下に浸透して伏流水となり、国道8号御幸橋あたりから湧水として、再び地表に流れ出るからなのです。

このように水が地上に表れないため、用水に恵まれない地域では、古くから地中深く井戸を掘ったり、湧水や谷川からの水を溜池に蓄えたりして田畑を耕すなど、人々は水の確保に苦労してきました。

愛知川の両岸には、川からの水を導く「井(ゆ)」と呼ばれる用水路が残っています。愛東・湖東地区には「青山井」や「愛知井」などが設けられ、地域の水田を潤してきました。

また、日照りが続く、「龍」がすむといわれる鈴鹿の山々や水神に降雨を祈りました。鈴鹿10座にも指定される御池岳や竜ヶ岳、雨乞岳の名称は、山に降雨を祈った信仰を現在に伝えています。

蛇口をひねれば水が出る現代。郷土の水は今も鈴鹿山脈から運ばれていきます。自然豊かな環境に感謝し、鈴鹿の森にまつわる本市の歴史文化を大切にしていきたいものです。

問 森の文化博物館整備課  
IP 050・5802・9951  
FAX 0748・24・1457